

広報 **ながはま** 5月号



こんには

らつしやいませ

ちんじ

じぎげんいかがですか

あなたの家にも一鉢くらいおありでは？

町内で写真のような家を見かけました。

訪れる人に心よいことばを投げかけてい

るようで、私もついいつの間にかさわや

かになっていました。五月ならサツキ

もいいでしょうネ。

(長浜寺町で)



校門が近づくとチョッピリ真剣な顔

元気いっぱい通学してま～す

ランドセルが歩く。小さな体に大きなカバン、制服も真新しい。チビッ子が入学してからはや一か月。毎日元気いっぱい通学し

登校では交通安全をかねた班旗を先頭にキビキビ歩く。もうどこから見ても立派な小学生。でも校門が近づくとチョッピリ不安気。真剣になる顔、うつ向きかげんの子…。教室での様子をソッと見てみたくなります。

ところで、心配なのは交通事故。子どもたちは私たちおとながお手本です。あなたも正しい交通マナーをよろしくネ。



読者登壇

2んにちは

▽：教育面や物質的にたいへん恵まれた現在の子どもたちは本当に幸福だと思います。でも、あまりにも恵まれすぎて、返って精神面では何か欠けており、ありがたさを知らず物を大切にすることが働くことを忘れた子どもたちが多いのではないかとチョッと気になるります。民生児童委員や母子推進員などお役に立たないながらもいろいろ勉強させて頂く中返ってこわさを感じます。母乳を与える運動の必要性をしみじみ感じ、またどんなに大切であるかを考えさせられます。健康な赤ちゃんを育てるために若いお母さんほとんど母乳で育てて頂くことを心からお願

いたわり合う心

福祉への第一歩



三井節子
(49歳)
上老松・主婦

▽：最近子どもさんも少なく、そのために兄弟ゲンカや大きい子が小さい子を、また、近所の子ども同士の思いやりなどがだんだんとなくなるように思われ、これでは自分さえ良ければ人のことなど考えない人になるのではないかと案じられます。福祉とは何か、誰かにしてもらっただけ要求する

のではない、お互い人のためにしてあげる子どもに育ててほしいものです。でも、まず子どもたちを責める前に私たちおとなが姿勢を正さない限り良くならないと反省しています。大きいことは考えてもできませんけれど、まず近所同士のいたわり合いや協力し合うことによっておとなも子どもも暖かい人のふれ合いを知り、心も身体も健やかに明るくやさしく育つように念じています。

▽：いくら用心していても最近思わぬ事故の多いことを考えなければなりません。痛々しい事故を起こさないようにお互いに気をつけたいものです。明るく楽しい家庭づくり。これが何よりの児童福祉になるのではないのでしょうか。立派に成長して学校や職場へ出ていく子どもたちの「ただ今!!」と帰る日を持つ一主婦の感想です。(民生児童委員)

長浜町開票区における 県議選候補者得票数 (得票数順・4月13日)

| | |
|--------|-------|
| 藤井政一 | 3,519 |
| 岡田つぎのぶ | 2,040 |
| 中本まきお | 706 |

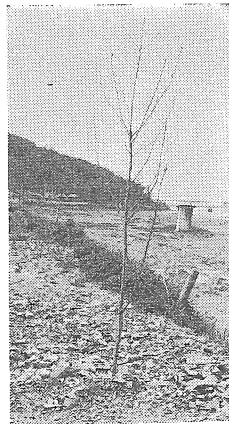
〔投票率 64.66〕

緑化運動募金で

サツキ110本、桜32本届く

国土緑化運動募金により購入した樹木の苗が、このほど長浜町にも贈られてきました。

贈られた樹木は、サツキ百十本と桜三十二本で、サツキは二月二十八日、桜は四月二日に届き、即



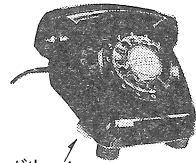
小浦団地の川岸に植えられた桜

日後記の場所に植えました。みなさんの家にもお届けできればよいのですが、何しろ募金率によって配分される限られた本数のため、まずは公共的な施設の周辺に植えることにしました。

植樹場所：町営住宅（小浦）へサツキ四十本、桜十四本。沖浦観音へサツキ三十本。長浜中学校へサツキ二十本。白山園へサツキ十本。役場本庁へサツキ十本。農協加工場へ桜五本。櫛生、出海、豊茂の各小学校へ桜三本ずつ。下須戒（惣瀬）の森林組合集出荷作業場へ桜二本。有線放送本部交換所（上老松）へ桜二本。

あなたはこれを 守っていますか 有線放送電話のかけ方

生活情報網の一つにスツカリ定着した有線放送電話。毎日ダイヤルを回す手もスムーズに動きます。しかしそれだけに扱っても無造作になりやすく、初めのルールを無視しがち。そこで十二月に自動化がスタートしてから約半年たった有線放送電話をもう一度振り返りルールなど主なものを拾い、電話のかけ方の参考にしてみました。



ポリウム（イタズラ電話は法律で処罰されます）

有線放送電話はみなさんが共同して使用するものです。エチケットを守り他人に迷惑をかけるないように利用しましょう。

電話番号の問 い合わせを変更

四月からこれまで九番で行って

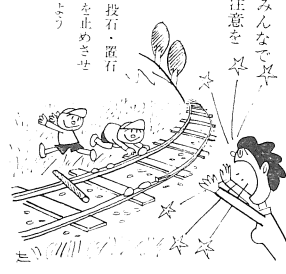
いた電話番号の問い合わせを二〇三二番に変更しました。間違わないようご利用ください。サービス・テレホンは従来通り一七六、一一七番です。

オーイノ線路で 遊ぶと危ないよ

～国鉄～

お父さん、お母さん、かわいい子どもたちを恐ろしい線路事故から守りましょう。

毎年春になり暖かくなると外で遊ぶ子どもたちが多くなり、線路に石や木を置いたり、線路の中で遊ぶなど列車の運転の妨害がふえてきます。このような妨害をするのは五、十歳までの小さい子どもがほとんどです。しかも、この年ごろの子どもたちはイタズラが好きならうえ汽車や自動車など動くものに興味をもっています。線路に置いた石や木が列車の脱線、転覆という惨事を招くばかりでなく子ども自身も不幸になりかねません



そこで、次のことを日ごろから習慣づけておきましょう。

- ①線路は歩かない
- ②線路の近くで遊ばない
- ③線路に石や物を置かない
- ④列車に石を投げつけない
- ⑤踏切では必ず止まって列車がこないことを確かめて渡る。

また実際に走っている列車を見させて「線路は危ない」ということを納得させるのもよい方法です。

事故はちょっとしたゆだんで起きるものです。お互が注意し声をかけ合いましょう。

赤松所長以下七署員

〃どうぞよろしく〃

大洲警察署の人事異動が三月二十五日付で行なわれ、長浜町管内の警察官にも異動があり、次の通りとなりました。

| | |
|------------|------|
| 長浜警察官派出所所長 | 赤松房雄 |
| 署員 | 上原基生 |
| 署員 | 向井昭則 |
| 署員 | 近藤 彰 |
| 署員 | 岡野善男 |
| 署員 | 上甲博満 |
| 署員 | 高木治雄 |

土居課長が退職

代理に上田補佐

長浜町役場建設課長であった土居孝童氏は、三月三十一日付で退職しました。

土居氏は昭和十八年から約三十二年間奉職し五十七歳をもって退職することになったものです。奉職中は大変お世話になりました。

フロの節約5 つのポイント

フロは日常生活に欠かせないものの一つ。とくにこれからは汗ばむ時期を迎えるだけに湯上り後の気分はそう快。そこでフロの節約ポイントを一。

- ①水は必要量だけ入れておき、夏は午前中、冬は直前にくむ
- ②家族そろって入る時間に沸かす
- ③沸き上がり

豆ちしき

便利メモ
タバコの吸いガラを水にとかし筆で草花の葉にぬります。油虫などの虫よけに効果があります。

- ◇ 時間を調べておく（季節、気温によって変わる）
- ④追いだししたら、つきつきに入浴を⑤中ぶたはおトクです。

た。なお、後任が決定するまでの期間は、同課の上田課長補佐が代理を務めています。

ただいま受付け中

個人住宅資金の借入申込み

住宅金融公庫では次の要領で五年度個人住宅資金の借入申込みの受付けを行っています。

〔貸付けの種類〕一般個人住宅

〔受付期間〕昭和五十年四月二十八日から融資予定戸数（八万戸）に達するまで（十月以降に第二回目の受付けを予定）

〔受付場所〕住宅金融公庫業務取扱店と表示した金融機関

〔貸付け対象者〕自分が住むための住宅を必要とし、土地の準備ができている人

〔収入金額〕平均月収が毎月の償還金の五倍以上ある人

なお、くわしいことは住宅金融公庫業務取扱店と表示した金融機関へ。

練り直し対処する年

50年度スタート

五十年長浜町議会第一回定例会が三月十八日から二十四日までの七日間の会期で開かれ、事業計画や予算など、五十年度の長浜町政の計画ができました。

こんどの議会に上程された議案は五十年度予算ほか条例改正案など全部で二十六件でしたが、いずれも原案通り可決されました。町長の五十年度施政方針、可決されたことの概要、おもな一般質問の模様を紹介しますので、五十年度の長浜町政のあり方をご判断ください。

施政方針のあらまし

町づくり目標 変わらぬ

町政の基本姿勢は西田前町長と同じであり、これを受け継いでゆく。政治の流れを変えようといううな意図は全くない。したがって、政策の大綱は長浜



施政方針を述べる町長

町振興基本構想を軸としたものであり、楽しく住みよい町づくり、豊かで働きがいのある町づくり、美しい人情と文化の町づくり、この三本のキャッチフレーズが私の施策の基本的な柱である。

では、人間が変わっただけで意味は変わらないのかといえば、それは、人間の顔形にそれぞれ違いがあるように、さまざまな色あいが出ると思う。

つまり、目的は同じだが、その方法に違いが出るであろうということである。

ただ、西田前町長は全国まわってみる遑大な存在であり、私にはそのマネはできそうもないので、私は私なりに、力の足りない点はすべての町民各位の英知と力を借りこれを結集して進むべきであると考えている。

低成長安定めざして

国際国内情勢

現在の国際国内の諸情勢を町政との関連性をもってみると、国際国内を通じて、第一には経済不況と高物価。第二に外交内政両面にわたる複雑多岐、混迷、不安定の

様相の二点に集約されると思う。しかし、これらはみんな人間が作り出したもので、人間自身の手でこれを改め立て直すことができないうはずはないという信念で、勉強と努力を傾注すべきである。

四十九年度と新しく始まるようにしている五十年度は、町村合併以後最低最悪の事態であるという認識のもとに長期的低成長安定という一つの理想的状態を望み、それに対する期待と実現への努力を合わせもつべき時期であると考えて

計画推進のつぎ

次に、長浜町の現今をみてみると、第一は合併満二十年目、終戦後三十年目、昭和五十年、西歴で一九七五年、一世紀の三・四半期を終り、最後四・四半期で二十世紀を終ろうとするつなぎ目の年であり、さらに町内の大部分の小学校が創立百年を迎えたときでもある。

このような区切りのよい年にめぐり合ったことは、まことに珍しく、また、長く記憶に留めやすい年度であり、新しい転換と希望や諸計画をもちたす重大な意義をもつ年であるといえる。

また、私にとっても最初の自分の計画や予算を取り組む本当の意気の出発の年であり、より一層意

義深い年となった。

第二には、仕事の上においても一区切りついた年である。

高度経済成長の波を満度に生かして、高度な建設事業を推進された十二年間の西田前町長のあらゆる仕事が一段落した年である。

臨海工業開発の第一次開発がめでたく実を結び、町内の交通体系をはじめ、学校、公民館、保育所、診療所、住宅、水道、有線放送電話など、大きな公共施設の整備が一通り完成されて、ここで一服し、構想を練り直すにはまことにふさわしい時期に到達したといえる。

しかし、これは、むろんすべてが完成されたことを意味するものではなく、理想の達成を意味する完成ということばは人類の続く限り常に未来のものである。

したがって、本町における一服のこの時期は、一服と同時に新しい発想と深く掘り下げた計画を真剣に推進すべき年であると考えなければならぬ。

継続すべき事業も、内容を充実させなければならぬ仕事も、また、新しく取り組みをしなくてはならない仕事も、数え切れず山と積まれている。

とくに二次開発計画については綿密細心の構えと膨大なエネルギーの発揮が必要であるが、長浜町の将来に大きな転換と繁栄を招来する最も大きな要素である二次開発の軸が確立されているということは、他の市町村には求め得られない希望の綱に結ばれているといえる。

長浜町の置かれていた特異性の特異性として、その推進に傾注すべきものである。

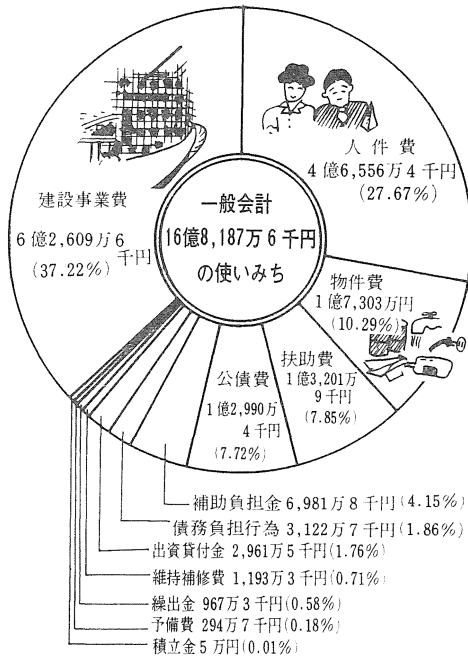
しかしながら、世界は不況、国内における総需要抑制と今後の低

成長指向型の政策の中では、開発のスケジュールを従来よりもテンポをゆるめざるを得ないであろうことを覚悟しなければならぬ。

選択主義で対処

これらの諸情勢からして、新年度は次の三点を貫いてゆこうと決意した。
一つは、金のないときにはないなすなわち

りに、義務的経費以外のものは、たとえそれが不義理になろうとも金を使わないで我慢しようということ。
二つは、公私の区別は明らかであるか、過保護、あるいは非効率的な施策はないかーなど、町行政のすべての内容を一応洗い直して政権交替の時期に慎重綿密にただしてゆきたい。
三つは、総花的でなく、最も厳正な選択主義を採用しようという



50年度

当初予算決まる

一般会計予算は四十九年度当初予算に比べ三八・三二%多い十六億八千八百七十六万円、その使い道を性質別にみても、円グラフの通りです。

▽国民健康保険会計予算 四億二千六十二万二千円。前

不燃物処理場など建設

16億8187万9千円

一般会計

これは主として建設事業、投資的の事業中心の問題で、やりたいこと、やらねばならないことは山ほどあるが、限られた財源でどれだけを選択して当該年度で消化してゆくかということである。

や県の補助率や起債の充当率の高さによって、多額の一般財源を必要としないもの。第三は、タイミングの上から絶対に時期をはずせば取り返しがつかないという性質のものである。

部カットや返上の措置はとらない。また、保母やホームヘルパーなど、直接住民のサービスに従事する職員を除いては、新年度は職員の補充はせず、少数精鋭主義の方針を執行する。

- 小浦団地への公営住宅1むね16戸建設費9,888万円
- 不燃物処理場建設費 944万円
- 農協缶詰工場跡地購入費 6,256万円
- 林業構造改善事業費2,882万円(うち1,390万円は林道・出石寺線開工事請負費)
- 森林病虫害防除事業補助685万6千円
- 漁礁設置費 968万3千円
- 漁港施設整備費 171万円
- 有線放送屋外トランペット整備費346万円
- 海水浴場駐車場および休けい所建設費 200万円
- 防火水そう設置費 367万円
- 小型動力ポンプ購入費 100万円
- ガードレール設置費 250万円
- 下水道管渠清掃工事費 150万円
- 農道補修費125万円
- 町内街路灯設置費 60万円
- 仁久地区下水道新設およびマンホール改良費 124万円
- 沖浦と喜多灘漁港建設費 5,132万円
- 第二次農業構造改善事業(櫛生)費 7,231万円
- 櫛生の高峯地区道路新設費 3,261万6千円
- 作業林道・櫛生鶴の首線ほか2線の開設費 908万円
- 櫛生堤防ほか災害復旧費 1,210万円
- 上老松の上成集会所建設費 938万円
- 町道・出石郷の峠線改良費 5,154万円
- 豊茂保育所新築費1,021万5千円
- 豊茂の駄馬地区道路舗装費 830万円
- 豊茂の道上地区道路新設費500万円
- 町道・朝日線ほか10線の災害復旧費 500万円
- 戒川線通学バス購入費200万円
- 柴の都梅地区治山治水事業費 151万4千円
- 晴海団地造成委託費の延べ払い分1億889万1千円

建設事業費のおもな内容

- ▽住宅改修資金貸付会計予算 一千八百七十七万円。前年度より二一・四六%増
- ▽工業用水道会計予算 収益的収入予定額二千八百八十三万七千円。収益的支出予定額一千八百九十一万七千円。資本的収入予定額ゼロ。資本的支出予定額三百四十七万二千円
- ▽水道事業会計予算 収益的収入予定額四千三百六十五万二千円。収益的支出予定額四千三百五十八万二千円。資本的収入予定額五百八十二万九千円。資本的支出予定額五百八十二万九千円
- ▽青島航路会計予算 一千四百二十八万三千円。前年度より四〇・八三%増
- ▽港湾施設会計予算 九百三十三万三千円。前年度より三・八〇%増
- ▽国民健康保険診療所会計予算 一千二百九十七万四千円。前年度より一〇・五〇%増

そのほか決まったこと

水道料を改正

水道事業給水条例の一部が改正され、四月一日から水道使用料金が

水道改定料金表

| 専用栓 | | 連用栓・共用栓 | | 特別栓 | |
|-------------------------|---------------------|-----------------------|---------------------|---------------------|---------------------|
| 基本料金 | 従量料金 | 基本料金 | 従量料金 | 船舶用 | 臨時用 |
| 13% _m 440円 | 9m ³ 以上 | 13% _m 340円 | 9m ³ 以上 | 1m ³ につき | 1m ³ につき |
| 16% _m 530円 | 1m ³ につき | 16% _m 390円 | 1m ³ につき | 65円 | 70円 |
| 20% _m 615円 | 55円 | 20% _m 425円 | 55円 | | |
| 25% _m 750円 | | 25% _m 495円 | | | |
| 30% _m 735円 | 1m ³ につき | | | | |
| 40% _m 1,280円 | 55円 | | | | |
| 50% _m 2,240円 | | | | | |
| 75% _m 4,720円 | | | | | |

備考 1. 2世帯以上が生活する住宅につき55円を超過する場合は上記の上記の料金に40円を加算する。
2. 公共浴場等は基本料金の外に9m³以上1m³につき40円とする。

国保税率も改正

が上の表の通り改正されました。

国民健康保険条例の一部が改正され、昭和五十年年度分から、税率が次のように改められました。
(一)内は改正前の率または額の四・七(百分の四・三)
(二)資産割の百分の七十五(百分の七十)
(三)均等割の五千円(三千円)
(四)平等割の八千円(五千円)

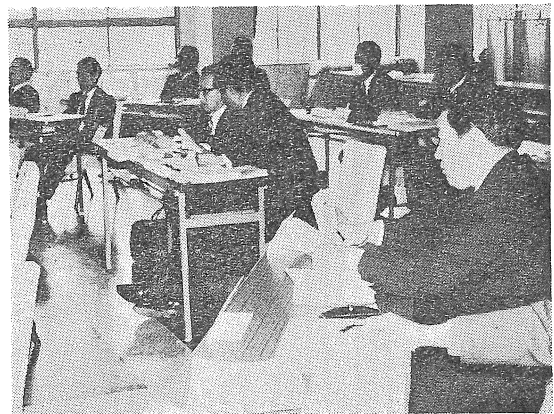
特別職の報酬額など改正

四月一日から、特別職職員員の報酬および費用弁償条例の一部が改正され、次の通り改められました
(一)内は改正前の額
△監査委員報酬/議員から選任された委員は年十万円(八万円)
△知議経験委員年十三万円(十一万円)
△選挙管理委員報酬/委員長年二万円(一万六千円)、委員年一

終末処理場の建設計画は

今議会の一般質問では、城戸岡政雄、西宮正幸、塚木弘基、新盛己の各議員が質問を行いました。
城戸岡議員：本町の下水道は傾斜が少なく、汚水が逆流してつまり、排水口は漁港に通じ浮遊物でイケスの魚を殺すことにもなり、各戸から出される汚水のタレ流し

に問題がある。その後、汚水終末処理場の計画はなされているか。
町長：四十八年に基本構想が立てられ金額で約十億円(当時)、用地は約二万平方メートル必要だと想定された。しかし本町は土地が少なく、どこに確保しその財源をどう生み出すかという大きな問題が起ってくる。



当初予算など審議する各議員

49年度予算に最終補正

四十九年度予算に最終補正が行われ、一般会計に五千二百八十九万三千円が補正されたほか、一部の特別会計にも最終の補正が行われました。この補正で、一般会計予算の総額は十七億三千九百九十七万九千九百九十九円となりました。
坂東武雄氏を再選
一 固定資産評価委員
固定資産評価委員であった櫛生の坂東武雄氏が三月三十一日付で任期満了となるため、町長は、引き続き同氏を推せん、議会の同意を求めた結果、満場一致で同意され再選されました。

そこでこのことは、第二次開発計画による土地造成の実施の場合同时に解決するよう進めたい。また
△教育委員報酬/委員長年十四万円(十二万円)、委員年十二万円(十万円)
△農業委員/委員長年十万円(八万円)、委員八万円(六万円)
費用弁償額は千円から千五百円引上げられて、勤務一日につき四千円に改められました。

水族館の充実を

城戸岡議員：町のシンボル、長浜水族館は観光客誘致の役割を果してきたが、現在はその魅力を失っている。その上、毎年赤字経

た生活環境をそのまましておくわけにはゆかないので、各域で浄化槽の設置、清掃の実施などで当面の急場をしのぎカバーしたい。

管でこれがマンネリ化すれば廃館も...と憂慮している。他県のように県立水族館を整備拡充して内容を充実するか新設する考えはないか。
町長：水族館の維持管理についてはいろいろ対策が考えられてきた。たとえば県立水族館にして道後動物園の分園にしてはどうかなど検討されてきたが、困難な問題も多く実現に至らなかった。そ



4本あるうちの1つ長浜河内に排出する下水口。町でも終末処理場の必要性は認められている。

拾い読み

のをはじめ、中・高校生中心に入場券、切符も飛ぶような売れ行き。
◇一日の利用者約百五十人の同駅は、以前は入場券も週に一枚売れる程度。返送にあたる駅員さんも「何がブームを呼ぶかわかりません」と言いますが、売上げ急増にニンマリしているとか。

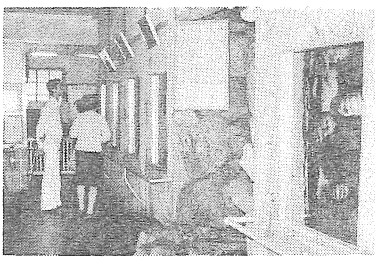
券 入 場 券
五 郎 駅
料 金 30円有効
発売当日1回限り発行
発売後1日限り発行

のをはじめ、中・高校生中心に入場券、切符も飛ぶような売れ行き。
◇一日の利用者約百五十人の同駅は、以前は入場券も週に一枚売れる程度。返送にあたる駅員さんも「何がブームを呼ぶかわかりません」と言いますが、売上げ急増にニンマリしているとか。

一般質問

ここで、県も推進している二次開発構想の中にレクリエーションエリア、いわゆる総合スポーツセンターを設け、ここに設置するのが一番の早道だと考えている。

当面の措置としては既存の施設を活用してできるだけ内容の充実を努めたい。また地元の漁業関係



整備充実を望む声が多く聞かれる長浜水族館

者にも協力を願う漁類も豊富に取揃え、県下でただ一か所の水族館を存続してゆきたいと考えている

どう進んでいる

二次開発

城戸岡議員：民放テレビニュースで今年四月から海底地質のボーリングを六千万円かけて調査し五十一年度から埋立てに着手することだが、県と町の開発に対する促進、誘致企業の内定はあるのか。現段階での第二次開発の過程の状況を伺いたい。

町長：施政方針の中でも述べたように二次開発は町の振興発展の基本であるだけに強力に進めたい。テレビ報道の内容については四月から実施すると金額的なものについてまで現在は話せる段階

ではないので責任ある返答はしていかない。このことは町単独のものではなく、県も真剣になって取組みその後合議も重ねてきている。

昭電の着工はいつ始まるか

いつ始まるか

西宮議員：今年建設予定の昭電工の着工は始まる見通しがあるのか。

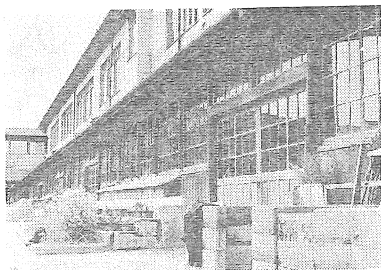
町長：この工場立地について三月十三日東京本社を訪れ、いつから着工できる見通しか聞くと、年内着工は無理だと返答だった。社会情勢からして、今年度着工は会社自体も計画が立たないものと判断している。

長小校舎の改築の見通しは

改築の見通しは

西宮議員：長浜小学校改築の実現の見通しはいつか。またプール建設の敷地購入について、その後進展状況はどうか。

教育長：五十年度はまず用地購入から取組んでゆきたい。全体の計画を立てて改築を行うので、どのようなマスタープランを持つか



種々長浜小学校など位置の検討にあたって改築の問題が校

が一番大切。基本的には運動場が狭いので広くとり、校舎およびプールをどの位置に建設するかが問題で、基本として基在、警察裏の土地を譲り受けたい考えである。

これが先行しなければ全体のプランが立たない。

これらを相互に

連係して五十年代にはこの問題の解決の見通しをつけて第一段階を踏み出してゆきたい。これは町理事者にも申入れて具体的な進めに取りかかっている。

一般質問

祝賀会の招待に片手落ちないか

片手落ちないか

塚木議員：町はこれまでいろいろな記念祝賀会を開催しているが直接間接の関係ある人を来賓に招待するのが通例であるのに今や片寄った感じをもつ。たとえば昨年十二月の国道昇格祝賀会でも本県・郡出身の国会・県議員の一部にしか招待状が届いていない。このような片手落ちの催しをすることは将来、本町の利益にならないのではないか。

町長：国道昇格に伴う祝賀式の来賓の案内は国道昇格のために作られた委員会があり、この委員会での範囲の来賓を招くのが適切かを慎重に審議した結果、質素に行う意味で長浜・双海両町に關係ある県内、町内の人を御招待した。今後ともこうした会合をもつ場合は各関係する審議会で慎重に取扱ってゆきたい。

水道料金について

塚木議員：本町の水道料金は他市町村に比べて高いように思う。物価の高負担という住みにくい環境の中で、せめて水道料金ぐらには他市町村並みに引下げの用意はないか。

町長・水道課長：水道事業は地方公営企業法に基づき運営され、その財源は受益者負担の原則で水道使用料をもってこれをあてる。水道料金は水道経営に必要なすべての経費をもとにして算定されるが、これは建設費規模、企業償還の額、水源、送水距離、給水区域の人口の大小などで条件が大きく変わるので、他市町村との単純比較はむずかしい。しかし極力、経費の節減に努めたい。

教員の人事配置はどのよう

どのよう

新議員：教員の人事配置について公正を期してもらいたい。これまで日教組の先生に対する方針、態度で問題点があるので公正を期すため町独自の具体策を示してもらいたい。

教育長：公正を期すことには全く賛成である。原則として三年以上の勤務者を対象に本人の希望、校長の意見を重視しながら実施しているけれども具体化するのには困難である。とくに今年度は定数減に伴う配置のむずかしさ、教科によるバランス的な問題があり一層複雑になっている。今後の問題として努力を続けたい。

農協の企業進出と商工業者との調整は

農協の企業進出と商工業者との調整は

新議員：農協が最近、企業化し

てきて町内へ進出し、スーパーをはじめ石油、衣料から宝石まで手がけている。このような農協のあり方に対し商工業者との関係調整を行政者としてどのように図ってゆくのか。

町長：農協と商工業者との調整は共存共栄が町の基本方針である。長浜農協の企業拡大は組合員からよい品を安く供給してほしいとの要請によるもので、一般町民もその点は理解していると信じている。今後、商工業者から問題提出があった場合は町としても町、商工会、農協の三者で円満に話し合い、共存共栄の基本方針で解決してゆきたい。

町財政の打開策はどのよう

どのよう

新議員：町独自の主体的、自主的な予算化ができないのはどこに問題があるのか。ただ、国内、国際全般がそうなので、本町もそうだというのでなく交付税率の引上げや超過負担の解消など各機関を通じて国・県へ働きかけ、地方自治の主体性を確立すべきではないか。

町長：このことは町だけでなく国をあげて対策を検討中である。過疎化の町村では交付された財源自主なので生活基盤確立のための自主財源を投入する方策、すなわち少ない額で有効活用を考える以外ないものと考えている。地方財政強化のためには地方税源の再検討を国で考え直してもらおう。こういった問題は機会あるごとに県の町村会、町村議会議長会で尽力してもらっているが、さらに強力に国へ要請している。

小学校に179人入学

中学校は二二五人

とし町内の小学校に入学した児童総数は百七十九人。学校別では長浜小九十六人(全校数五百十一人)、同青島分校(三人)、喜多灘小八人(七十三人)、櫛生小十八人(百十八人)、出海小十一人(八十人)、大和小八人(百一人)、豊茂小十六人(七十九人)、白滝小十三人(百七人)、

戒川小三人(三十一人)、柴小六人(五十九人)。

制服も真新しいかわいい一年生はきょうも楽しく、元気よく通学してはいますが、お母さんに一言、これまで保育所へ通っていたお子さんなら保育所の同級生とまたいっしょになるというケースもありますが、そうでないときに初め

て合わすお友だちの顔を見てこわがったり、虫が好かないとか、というところは、おとなの世界と同じうちの子どもは、といった自信をもってはお母さんも、よく先生と相談したり、近所のお友だちを訪ねることも学校生活に慣れさせるよい方法です。

また字が読めたり、少しばかり算数が先にできたりすることよりも、まず自分の名前が言え、かなで自分の名前が書けること。衣服の意思表示をハッキリさせ、ハナガミやハンカチの使い方やしま

つ、通学道の安全交通を正しく教えましよう。

一方、中学校の新入生徒総数は二百二十五人。学校別では長浜中が二百七人(全校数六六七人)、出海中 十八人(六十二人)。

みんな元気にスタスク成長してほしいものだ。

保育所は四八二人

五十年度の町立各保育所と乳児保育所の入所児童数はほとんどが定員を下回りました。保育所別の

入所児童数は次の通り。(カッコ内は定員)

長浜保育所百十三人(百二十一人)、沖浦保育所五十二人(六十六人)、喜多灘保育所三十人(三十三人)、櫛生保育所五十人(六十六人)、出海保育所四十七人(六十六人)、大和保育所五十七人(六十六人)、豊茂保育所二十五人、○滝保育所五十六人(九十八人)。

また乳児保育所は五十二人(六十六人)。



刀剣の地鉄の見かたを説明する石岡さん(自宅)

ホホー！！

語るまでもないという表情に刀剣との歴史の長さを感ぜさせる。が、あえての質問に、「刀剣は日本の魂を語るもの。芸術品として世界最高のもの」と、むだのない答えが返ってくる。

あご、ほおのあたりにも白毛が目だつが、面長で、太く濃いまゆ毛、静かな目つきは、刀剣との縁をもつだけに戦国時代の武将を思わせるところがある。

石岡周一さん。七十六歳。知る人ぞ知る刀剣界の生き字引。今でこそ家業の家具店を本業としていますが、かつてその界では全国における筆頭格に名を置いた人であり、今なおその名実を衰えるばかりか、刀剣協会、博物館、刀商、刀工、鑑定人、研師(とぞし)方の世界では、ますます貴重な存在として接触が絶えない。

刀剣に興味を感じ始めたのは二十五、六歳だという。刀剣歴史家である伊予市の山内主さんという人との接触から刀剣の研究をするようになり、一時は長浜十三区の

刀剣とともに50年

長浜13区の石岡さん

榊原佐助さん、今はなき同区の井内茂雄さん、小浦の小野正春さんらも共にかなり研究に熱中したそ

うである。

最もうれしかったのは三十五、六歳のころ、自分が鑑定をして最上作の刀、「津田越前守助広」を手に入れたときで、自分が八百二十円(当時自分の家が千二百五十

円建てたという)という値をつけたという。

五本出せば五本、十本出せば十本、ピタリと作者名が当たるとい

う才は、刀剣大会でもその腕前を発揮し、抜群の最上位の成績を納め、ほとんどの大会で胴元、会長の次席を与えられていた。

「大きな取引には鑑定以上の力と感が必要」と、そのときの厳しさを身振り手振りで語る姿に石岡さんの現役全盛期がしのばれる。

「刀の見方は、一に刀品、二に

地鉄、三に焼刃で見る。人間にたとえれば、一はどことなく品の良い人、二は教養がある人、三は力のある人にたとえられる」。

「刀は最上作、上上作、上作、中上作といったように分けられる。最上作には、仙台の国包(小にかね)、江戸の長曾根虎徹、小野繁慶(一はんけい) 京都の埋忠

明寿(うめただみょうじゅ)、国広、大阪の津田越前守助広、井上真改(大阪政宗)、南紀の重国、肥前の忠吉(ただよし)」

「名の打ち方、字体で偽物か本物かすぐ見分けられる……」などと、実践を通した自信をもった知識が聞かれる。

刀の話は話せば限りなくいろいろという。

「このように勉強できたのは、終戦で一斉に刀剣が出されるといいうチャンスに恵まれたこと、そし

て、愛媛県には愛刀家が多く、しかも全国に誇れる鑑識家がおったこと……と語る

うっかりすると鉄クズ同様に捨てられたり、悪い商人に二足三文で買いつられてゆくものの中にも石岡さんの目を通せばたちまち何十万円、何百万円もするような名刀と鑑定されて、思わぬ家宝の発見に喜ぶ人は今も多い。と同時に石岡さんにとってもこれが今の一番の楽しみでもある。

鑑定料などは不用。埋もれた最高の芸術品、刀剣の発見と保存で愛刀家を育て、さらにこれらの人々から深く感謝されている。

「ほんとうにきちょうめんな性格で、要領を使ったり、人をだましたりする人を一番嫌ひ、偽りがないことを最も好む、ですから人によつては好かれませぬ。いわゆる職人ハタつてとこですな」と長男の誠一さん(三九)は評価する。

カエルの子はカエル。この誠一さんも、刀が出たと聞けば書を片手に足を運んでいるとのこと。

つ、通学道の安全交通を正しく教えましよう。

一方、中学校の新入生徒総数は二百二十五人。学校別では長浜中が二百七人(全校数六六七人)、出海中 十八人(六十二人)。

みんな元気にスタスク成長してほしいものだ。

保育所別の

入所児童数は次の通り。(カッコ内は定員)

長浜保育所百十三人(百二十一人)、沖浦保育所五十二人(六十六人)、喜多灘保育所三十人(三十三人)、櫛生保育所五十人(六十六人)、出海保育所四十七人(六十六人)、大和保育所五十七人(六十六人)、豊茂保育所二十五人、○滝保育所五十六人(九十八人)。

また乳児保育所は五十二人(六十六人)。

レポート

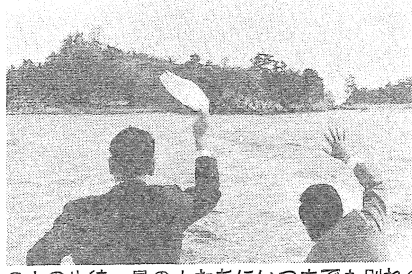
青島小 97年の校史に幕

長小分校で再スタート



最後の「青島小学校校歌」を歌う三人の在校生（前列）と三人の卒業生（すく後列）。今後は長浜小学校の校歌を歌うことになる

閉校式は三月二十六日に卒業式および終業式のと、島の人はほとんど八幡浜教育事務所長代理、菊地町長、菊地教育委員長、小泉教育長、池田町議会議長、菊地町議会文教厚生委員長、それに今後同校の管理運営を受持つ高左衛門校長、松岡PTA連合会長ら関係者多数が出席し行われた。式は、まずこれが最後となる「青島小学校校歌」を合唱して始まり、次いで菊地町長が「今後当分、生徒の増加の見込みは立ちがたくやむなきに至ったが、やがて再び振興発展の春がよみがえり、独立校設立の機運に早く巡り会えるよう共に努力しよう」と式辞を述べた。



別れた古いの生る三手先生

長浜町でただ一つの島、青島小学校が生徒の減少で、五十年前からついに長浜小学校の「分校」となった。同校は明治十一年に島のお寺・潮音寺に設立され、潮音小学校として島の子どもたち十数人を集めて出発したが、創立以来九十七年で「青島小学校」としての幕を閉じたことになる。青島の過疎化は近年急激に進み昭和三十五年に六百五十五人、四十年に四百七十一人もあった島の人口も、こし三月には百六十九人と減少した。

その理由は、高度経済成長の中にあつて、離島という運命からそれとは裏腹にさびれてゆく島、生活に格差がつく一方の島の生活の不便さから島民が離れていったためである。中でも若者のほとんどが島を出ていってしまつてゐることは、生徒の減少と切り離せない関係をも

統計

49年度の赤ちゃん誕生

2.64日に 1人
男 5.14日に1人
女 5.45日に1人

閉校式は三月二十六日に卒業式および終業式のと、島の人はほとんど八幡浜教育事務所長代理、菊地町長、菊地教育委員長、小泉教育長、池田町議会議長、菊地町議会文教厚生委員長、それに今後同校の管理運営を受持つ高左衛門校長、松岡PTA連合会長ら関係者多数が出席し行われた。式は、まずこれが最後となる「青島小学校校歌」を合唱して始まり、次いで菊地町長が「今後当分、生徒の増加の見込みは立ちがたくやむなきに至ったが、やがて再び振興発展の春がよみがえり、独立校設立の機運に早く巡り会えるよう共に努力しよう」と式辞を述べた。

○大和保育所四十九年度卒園児

清水敏宏さんから寄付された絵「網かけ岩」

ありがとうございました

寄付

○榴生の清水敏宏さん (二八)

○黒田(築地)の西田昌光さん (四一) : 国旗掲揚竿(鉄製)一本を櫛生保育所へ

○須沢の水口健さん (三八) : モクレン樹木一本を櫛生保育所へ

○元沖浦保育所職員で沖浦(小浦)の上田喜久子さん (二六)

○長浜十八区の藤岡恵子さん (二六) : 「保育所幼児用に」と幼児用整理ダンスを沖浦保育所へ

○黒田(築地)の西田昌光さん (四一) : 国旗掲揚竿(鉄製)一本を櫛生保育所へ

おこわり

ましのことを贈るとともに、涙ながらに「この子たちが健やかに成長するまで、九十七年の伝統を引き継いで島あげて尽力いただくようお願いしたい」とあいさつ。最後に生徒を代表して卒業する宮井真理さんが「私たちが最後の卒業生となりました。心のふるさとがなくなるのでは...と思つていたが、分校として残るといことを聞き、安心して学校を出ることができます」と謝辞を述べたほか宮井PTA会長が謝辞を述べて式を閉じた。

「時の流れには勝てない」「この島を離れてゆく人の気持ちもわかる」...と話すある婦人のことばに、離島という宿命に対するあきらめのようなものが伺える。

戦争中「ぜいたくは敵だ」という標語があった。

目玉

そしたら、「敵」の上に「素」という一字が書き加えられた。

今月号から、香典返し、見舞返し代わりの寄付の紹介は、この欄ではしないことになりました。理由は、この欄へそのようなケースの寄付を紹介することによって、香典返しや見舞返しの寄付を奨励するような意味になつてはならないということからで、このことについては、公民館や社会福祉協議会にも協議を願つたほか、同意をいただいています。

表彰***

小さな親切

稲垣 さん

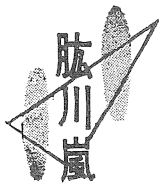
長浜町交通指導員である沖浦の稲垣美恵子さん(二四)は、このほど全国小さな親切運動本部から、小さな親切実践賞を受けました。

職場である長浜警察官派出所の赤松部長の話によると、稲垣さんは、この最近、数年ぶりに妹の家をたずねてきた伊予市のあるおばさんに、親切に居所を探してあげ長浜から白滝の老人ホームまで連れて行ってあげたということで、この親切行為に実行賞が贈られたものです。

兵頭さんら金賞に

えひめこども美術展 次の児童は、県教委、県市町村教委連合会、県教育研究協議会、美術教育連盟、愛媛新聞社主催による「第二回えひめこども美術展」で各部門に入賞、このほど松山の愛媛県民館で開かれた表彰式で表彰されました。

(書道の部)▽金賞 川谷光(長小三年)
[美術の部]▽平面作品の金賞



「はく鳥は悲しきものよ海の青、空の青にも染まらずただよ」まことにあざやかな一幅の絵、そのこよない美しさの中にも歌人はそこはかたない哀愁を汲みとっていた。海の青、空の青、そして目もあざやかな野山の緑、一年中で五月はやはり一番美しい。しかし今年には歌人の孤独の哀愁ではなくて、不況という万人の哀愁がただよっていることを素直に認めずばなるまい ▲日本だけでなく今や世界をあげて社会情勢は大きく変わろうとしている。とくに産業経済については想像を絶する事態になりつつあると考えるべきではないか。このようなとき、日本人はこれまで案外早く変化に順応し、あきらめと忍従の生活の中で哀愁の歌を口ずさみつつみずからを慰めてきたように見える。日本調の歌というのはほとんどが哀調を帯びているのはそのためだという ▲しかしそういつまでもあきらめてばかりもいられまい。今こそこの世界的な大転換期をひかえて、日本人らしい新しい境地を開かねばならぬ ▲答えは一つ。物資、エネルギーともに資源欠乏に対処するために、物を大切に感謝して使うこと、さらに物やサービスを供与してくれるあらゆる人々に感謝すなわちありがたの心をおこすこと。これこそ五月の空や海のひろびろと晴れやかな心であらう。

△矢野克美(柴小六年) 兵頭奈保美(長中一年・榊生) 神内仁美(同二年・須沢) 沖江紀代子(同・沖浦) 二宮圭三(同三年・同) △平面作品の銀賞 川谷光(長中一年・柴) 寺田美紀枝(同二年・豊茂) 武田満恵(同・榊生) 藤渕啓介(同三年・豊茂) 窪美千代(同・柴)

△柴小三年) 矢野克美(同六年) 久保田良子(戒川小六年) 清水群司(長中一年・長浜) 大津賢次(同・仁久) 久保都(同・沖浦) 松本昇(同・須沢) 森内千栄美(同・豊茂) 波多野雅弘(同二年・榊生) 松岡則子(同・上老松) 日野勝一(同・戒川) 米田珠美(同三年・長浜) 兵頭千恵(同・榊生) 佐相善正(同・白滝)

△立休作品の銀賞 川谷光(長中二年)



△結婚 3月長浜町役場届出分(敬称略) 今月のトップは三秋敬司レイ子さんのカップル

住 氏名 婚姻届時年齢
△長 三秋 敬司 (二四)
△長 村上レイ子 (二四)
△長 須藤 智和 (二六)
△長 中山美智子 (二六)
△長 豊田 久枝 (二八)
△長 今 矢野上唯子 (二八)
△長 長 加藤久枝 (二八)
△長 黒 山下与市 (七〇)
△長 黒 水本コマツ (七〇)
△長 八幡濱市 清水高橋 勝之 (二四)
△長 白 榊生 幸枝 (二二)

住 氏名 続柄 児名
△長 松山市 高左 慎 (二八)
△長 宇都宮陽子 (二四)
△長 清水 慶信 (二七)
△長 下須 小前 保 (二八)
△長 長 谷本トシエ (二五)
△長 沖浦 岡本 英子 (二五)

住 氏名 死亡時年齢
△長 久 宮内 貞信 (七五)
△長 久 上野ミヤコ (七〇)
△長 西田 司郎 (四)
△長 山本登美子 (七二)
△長 今井 恒一 (七三)
△長 田中マツノ (八五)
△長 末広伴太郎 (六八)
△長 藤井 辰生 (六七)
△長 田丸ヨシカ (六六)
△長 小川 明 (六八)
△長 宇都宮 孝 (四五)
△長 西村カツヨ (六七)
△長 二宮 誠 (六八)
△長 武地チトミ (七二)
△長 小野ツルヨ (七九)

お誕生おめでとう!!

3月届出分(敬称略)
住 保護者氏名 続柄 児名
△長 高田 満気 二男 典幸
△長 青野 凱 二女 草苗
△長 山本 一義 二女 亜衣子
△長 矢野 鹿男 二女 直美
△長 石田 勝行 二女 大介
△長 岡 孝志 二女 美由喜
△長 菊岡 孝夫 二女 美由喜

おくやみ

3月届出分(敬称略)
住 氏名 死亡時年齢
△長 久 宮内 貞信 (七五)
△長 久 上野ミヤコ (七〇)
△長 西田 司郎 (四)
△長 山本登美子 (七二)
△長 今井 恒一 (七三)
△長 田中マツノ (八五)
△長 末広伴太郎 (六八)
△長 藤井 辰生 (六七)
△長 田丸ヨシカ (六六)
△長 小川 明 (六八)
△長 宇都宮 孝 (四五)
△長 西村カツヨ (六七)
△長 二宮 誠 (六八)
△長 武地チトミ (七二)
△長 小野ツルヨ (七九)

編集後記

本号から、ごあいさつ代わりに本欄を設けました。どうぞよろしく。五十年を迎え、わずかながら本紙の企画を改めてみました。中でも二ページにはあなたのご意見を、六ページには、町内の特技の持ち主を紹介して、読者のみなさんに登場していただくことにしました。

相変わらず表紙の写真には苦勞をしていますが、小さくても大きいできごと、珍しいものの発見、みんなに普及したい楽しい催しやアイデアなどなど、表紙にもあなたの参加を待っています。それから、こんなことも載せてほしいといったことがあれば、「声の箱」に入れていただくか、とにかくまあ、広報係に一度お電話ください。

人口世帯数

楽しく住みよい町、豊かで働きがいのある町
美しい人情と文化の町をつくり、人口をふやしましょう。



| | 4月1日現在 | 前月との比較 |
|-----|-----------------------------------|------------------------|
| 人口 | 13,865人 (男 6,569人 女 7,296人) | 37人減 (26人減 11人減) |
| 世帯数 | 3,956世帯 | 1世帯減 |